

校正技能検定

第 153 回〈中級〉試験案内

[校正技能検定について](#)

[第 153 回校正技能検定〈中級〉試験応募要項](#)

[校正技能検定〈中級〉試験実施内容](#)

校正技能検定委員会

主催=日本エディタースクール

校正技能検定について

■ 校正技能検定とは

校正技能検定は、‘校正者の基礎技能および基礎知識の検定を行なうことにより、校正技能を向上させるとともに、校正者の社会的ならびに企業内部における地位を高め、もって出版文化の向上に寄与することを目的’（“編集技能検定〈校正部門〉実施規程”より）として日本エディタースクールが主催するものです。

■ 検定の方法

校正技能検定には、初級（旧・五級）、中級（旧・四級）、上級（旧・三級）の3段階があります。上級と中級については統一試験（〈実技試験〉および〈学科試験〉）によって行います。初級については、各種教育機関において、校正技能検定委員会の認定した単位科目の修得をもって〈実技試験〉および〈学科試験〉に充当します。

■ 受験資格

受験資格は、次の通りです。

・校正技能検定〈中級〉

- 1 校正に関し、日本エディタースクールの所定のコースを修了した者
- 2 校正に関し、各種機関で一定の実技訓練を受けた者、もしくは実務経験のある者
- 3 前各項規程に準ずる者として校正技能検定委員会において認定した者

・校正技能検定〈上級〉

- 1 校正技能検定〈中級〉試験に合格した者

■ 校正技能検定委員会

校正技能検定を行うために、日本エディタースクールに校正技能検定委員会をおき、日本エディタースクールの委嘱による委員若干名をもって構成する。この委員会が技能検定試験の資格審査、当該年度の試験科目の選定、試験問題の作成ならびに採点基準の決定、合格者の決定等を行います。

第 153 回校正技能検定試験応募要項 〈中級〉

* 第 153 回校正技能検定試験は〈中級〉についてのみ実施する

① 試験日時

2018 年 12 月 16 日（日） 午前 10 時 40 分～午後 5 時（ガイダンス・休憩含む）

② 試験場

東京会場：二松學舎大学九段キャンパス 九段 4 号館（東京都千代田区九段南 2-4-14）

最寄駅—地下鉄半蔵門線・東西線，都営新宿線「九段下」駅

関西会場：大手前大学さくら夙川キャンパス D 棟アートセンター（兵庫県西宮市郷免町 8-12）

最寄駅—JR「さくら夙川」駅，阪急「夙川」駅，阪神「香櫨園」駅

* 会場についてはお申込み手続きの際に会場地図をお渡しします。

③ 検定方法

実技試験および学科試験

④ 受験資格

(1) 校正に関し，日本エディタースクールの所定のコースを修了した者

イ) 全日制 編集者養成総合科の前期教室修了者

ロ) 全日制 校正者養成専門コース，編集実務コース，校正実務コース修了者

ハ) 夜間部校正コース修了者，校正教室〔校正基礎（A-5），タテ組校正（B-5・B-7），ヨコ組校正（B-6・B-8）〕の修了者

ニ) 通信教育部修了者（校正コース，校正フレックス・コース，出版編集コース）

ホ) 土曜本づくりコース校正教室（実習教室）修了者

(2) 校正に関し，各種教育機関で一定の実技訓練を受けた者

イ) 校正に関する各種教育機関の修了者

ロ) 校正実務経験者

(3) 技能検定委員会において前各項規程に準ずるものとして認定した者

⑤ 申請手続

別紙申込書に所定事項を記入し，写真，検定料をそえて日本エディタースクール事務局へ申し込むこと。

郵送で申し込む場合は，申込書を締切日必着で送付のうえ，検定料を以下のいずれかの方法で締切日までに納入してください。

(1) 銀行振込（次のいずれかの口座）

・三井住友銀行飯田橋支店 普通 2893121

・ゆうちょ銀行〇一九店（ゼロイチキョウ店） 当座 0008265

いずれも口座名 日本エディタースクール（ニホンエディタースクール）

(2) 郵便振替

口座番号 00140-7-8265

加入者名 日本エディタースクール

(3) 現金書留

(1), (2) の場合は, 申込書を以下の送り先に送付し, 同時に検定料納入手続きを行ってください.

(3) の場合は, 申込書と検定料を同封して, 以下の送り先に送付してください.

送り先→ 〒101-0061 東京都千代田区神田三崎町 2-4-6 日本エディタースクール

問い合わせ先→ 日本エディタースクール 電話 03-3263-5891

写真は 3×4 cm. 申請前 6 カ月以内に撮影した正面脱帽写真, 裏面に撮影年月日及び氏名を記載したものを添えて提出するものとする.

⑥ 申込期間

2018 年 10 月 10 日 (火) -2018 年 12 月 9 日 (日)

⑦ 検定料

中級……8,640 円 (税込み)

準中級…3,240 円 (税込み)

(注) 第 150 回 (2017 年 12 月実施), 第 152 回 (2018 年 7 月実施), にて, 準中級と認定された方は, 準中級として学科試験のみの受験となります.

⑧ 試験結果通知

受験者に対しては, 試験結果通知を郵送します.

合格者には合格証明書を発行します.

⑨ 持参用具 (当日は貸出をいたしません. あらかじめご承知ください)

(1) 筆記用具 (赤ペン (細書きの水性ペン), 青鉛筆, 黒鉛筆 (シャープペンシル), 消しゴム), 結果通知用の封筒に宛名を記入していただきますので, ボールペンなども用意してください.

(2) 印刷文字スケール (アメリカンポイント表・級数表) またはポイント尺, 活字尺

(3) 『標準 校正必携』(日本エディタースクール出版部刊. 持ち込み可の参考書で, 必須ではありません)

(4) ルーペ (細部の確認に必要な方のみ)

(2) ~ (4) のアメリカンポイント表, 級数表, 『標準 校正必携』, ルーペは実技試験のみ使用できます. 学科試験では使用できません.

(注) テキスト・参考図書・印刷文字見本帳, ノート, 辞書類 (電子辞書を含む), 携帯電話は使用できません. 携帯電話は時刻の確認にも使用できません.

■遅刻について

実技試験 I の試験開始より 30 分を経過した場合, 理由の如何にかかわらず欠席扱いとなります.

(当日すべての試験を受けることはできません. また, 検定料は返金いたしません)

30 分以内の遅刻で受験する際にも, 試験時間の延長はありません. あらかじめご承知ください.

■検定料について

欠席された場合, 検定料の返金はいたしません.

(ただし, 試験日当日の天候や災害などの事情により試験を中止した場合は, その限りではありません)

■試験の中止について

天候や災害など, やむを得ない事情により試験を中止する場合があります. 中止の際は, 日本エディタースクールのサイトでお知らせします.

(電話でのお問い合わせには対応できませんので, あらかじめご了承ください)

第 153 回校正技能検定試験実施内容

●検定内容

指示された方針に従って、比較的単純な組版についての初校原稿引き合わせと通読作業を遂行する能力

●検定方法

実技試験および学科試験

●出題範囲

I 実技試験

1 初校原稿引き合わせ

- ・書籍本文 縦組 2 題，横組 1 題

ポイント組または級数组

本文（見出し，柱，ノンブル等を含む）

パラルビ

（注，引用文，表組，写真，図版，キャプション）

和欧文混植（数字，欧字，欧文，単位記号）

- ・表記 一部，旧字，旧仮名づかいを使用することがある

2 校正刷り，校正作業（時間割）

	頁数	時間	校正刷りと校正作業
実技 I	6 頁	90 分	縦組原稿引合せ. 原稿指定付き手書き原稿（または PC のハードコピー）を印刷会社で文字入力，組版し初校校正刷りを出力．作業条件にのっとり原稿と初校校正刷りの引き合わせ作業．
実技 II	4 頁	60 分	横組原稿引合せ. 原稿指定付き PC のハードコピー（または手書き原稿）を印刷会社で文字入力，組版し初校校正刷りを出力．原稿と初校校正刷りの引き合わせ作業．
実技 III	6 頁	60 分	縦組データ入稿の赤字確認と通読. 指定付き PC のハードコピー（原稿整理の赤字を含む）と CD-R を印刷会社に入稿．印刷会社で CD-R の文字情報を原稿の赤字にそって修正，組版し初校校正刷りを出力. PC のハードコピー（原稿整理の赤字を含む）と初校校正刷りの引き合わせと通読作業．

PC→パソコンのワープロソフト CD-R→CD-R，USB メモリなどのデータ記録媒体

II 学科試験

下記の範囲から○×式および筆答式で出題（時間 50分）

1 校正作業に必要な知識

①編集・製作に関する基本知識

本の一般的知識

印刷文字・記号についての知識

比較的単純な組版の原稿指定に関する知識

縦組の組方原則

等

②校正作業に関する知識

2 用字用語に関する知識

①漢字に関する知識

字種・字体に関する知識

漢字の読み書き

同訓・同音異義語

誤りやすい漢字

送り仮名に関する知識

等

②仮名づかいに関する知識

現代仮名遣いに関する知識

等

3 一般的知識

●時間割

10：40—10：55 ガイダンス

11：00—12：30 実技試験（縦組Ⅰ）

（お昼休み）

13：30—14：30 実技試験（横組）

14：50—15：50 実技試験（縦組Ⅱ）

16：10—17：00 学科試験

- 実技審査基準
- 1 版面その他の組方が指定通りか確認されている。
 - 2 本文は原稿（原稿の赤字）と忠実に照合されている。
 - 3 訂正が正確にわかりやすく記入されている。
 - 4 疑問が正確にわかりやすく記入されている。
 - 5 与えられた時間内に作業が行われている。

- 合否基準
- 1 実技試験（3題）と学科試験が一定の基準に達した場合に中級合格とする。（85点前後以上を審査対象とする）
 - 2 実技試験が一定基準に達し、学科試験のみ一定基準に達しない場合は準中級を認定する。
（準中級認定者は一定期間内に学科試験を受験し、基準に達すれば中級合格となる）

日本エディタースクール

〒101-0061 東京都千代田区神田三崎町 2-4-6

電話 03-3263-5891 Fax.03-3263-5893

<http://www.editor.co.jp> e-mail: school@editor.co.jp

校正技能検定申込書

下記の校正技能検定を受験したいので検定料を添えて申し込みます

中級校正検定 準中級 上級校正検定

日本エディタースクール校正技能検定委員会 殿

ふりがな 氏名		会場	*東京	申込 番号	
生年月日 性別	(西暦) 年 月 日 男・女 (歳)		*関西		
現住所	〒				写真貼付 3×4 cm 裏面に氏名と 撮影年月日を 記載
	電話 () -				
勤務先名	電話 () -				
中級合格 (四級)	第 回校正技能検定中級(四級)合格 (年 月)				
学 歴	最終学歴 学校名 (学部・学科)	所在地	在 学 期 間		摘 要
			年 月 - 年 月 (卒業・卒業見込)		卒業・中退・在学 (年 在学)
受 講 歴	日本エディタースクール 受講課程		受 講 期		摘 要
			年 期		修了・中退・在学
			年 期		修了・中退・在学
			年 期		修了・中退・在学
訓 練 歴	訓練施設名	所在地	訓練を受けた期間		摘 要
			年 月 - 年 月 年 月 - 年 月		卒業・中退・在学 卒業・中退・在学
職 歴	事業所名(現職含む)	所在地	職 名	在 職 期 間	
				年 月 - 年 月	
				年 月 - 年 月	
				年 月 - 年 月	

- ・ 職歴欄は校正・編集の実務経験のある人のみ記入する
- ・ 所在地は都道府県名のみを記入する
- ・ 上級申込の場合は、中級合格欄に受験した回数あるいは年度(月)を記入する
- ・ *印欄は、東京・関西いずれか希望の受験地を丸で囲む

受付日 月 日

校正技能検定『申込書』記入の際には以下の点にご注意下さい。

- ①該当する級の前の□に✓印を付けてください。
- ②氏名は楷書で丁寧に書いて下さい。(ふりがなも必ず記入のこと)
- ③写真は顔がはっきり写ったものをご使用下さい。
- ④最終学歴の項は以下のように詳しく書いて下さい。

(摘要欄の卒業、中退、在学の該当するものを丸で囲んで下さい)

〈例〉 ○○大学 ○○学部 ○○学科
○○短大 ○○学部 ○○学科
○○専門学校 ○○学科
○○高校 ○○科

- ⑤スクール受講歴は、全日制(昼間部)・夜間部・通信教育部・土曜のどのコースか、あるいは教室名といつ受講したかを記入して下さい。

(摘要欄の修了、中退、在学の該当するものを丸で囲んで下さい)

〈例〉 全日制 校正者養成専門コース 18年2月生
夜間部 基本コース校正教室 17年冬期
通信教育部 校正コース 17年10月生
土曜 校正教室(実習教室) 18年3月期

(はっきり覚えてない方は、いつ頃申し込まれたかを書いて下さい)

- ⑥スクール以外の各種教育機関で校正を学ばれた方は、学校名(訓練所)と学習期間(訓練歴)等詳しく記入して下さい。
- ⑦職歴欄は校正・編集等実務経験のある方のみ、事業所名・期間など詳しく記入して下さい。(正社員・アルバイト・フリーなど形態は不問)

「申込書」にも記載注意がありますので、ご一読ください。

- ◎試験当日は、持ち物を確認のうえ試験会場においでください。

編集用具と『標準校正必携』が使用できるのは、実技試験の時だけです。

- ◎試験の申し込み、実施などにつきましてご不明の点がございましたら、事務局までお問い合わせください。